

授業科目	情報法演習
演習題目	情報・メディアをめぐる法的問題
担当教員	成原慧
授業の目的	情報・メディアをめぐる法的問題（例えば、メディア（新聞、出版、放送）の自由と責任、インターネットの自由と規制、プラットフォーム事業者の役割と責任、プライバシー、個人情報の保護と活用、人工知能（AI）に関する法的問題など）について理論と実務の両面から多角的に理解し、解決するための知識および技能を修得することを目的とする。あわせて、ゼミでの報告、議論、論文執筆等を通じて、論理的・分析的に調査・思考・表現し、他者と議論する能力を修得することを目的とする。
履修条件	特にないが、知的好奇心が旺盛で柔軟な思考力のある学生、ゼミに積極的・主体的に参加する意欲のある学生の履修を歓迎する。情報法および法情報学の講義を履修済みか、並行して履修することが望ましい。
教科書・参考書	適宜ゼミ内で紹介するが、さしあたり次の書籍が参考になる。 曾我部真裕＝林秀弥＝栗田昌裕（著）『情報法概説 [第3版]』（弘文堂、2025年）
授業の計画・内容	前期のゼミでは、学生が交替で情報法に関連する裁判例や文献をレビューする報告を行う。後期のゼミでは、ゼミ論の執筆に向けて学生が交替で報告を行う。毎回のゼミでは、報告について全員で議論を行うため、報告者はもとより、他の学生も積極的・主体的に議論に参加することが期待される。なお、授業時間は若干延長する可能性がある。 研修旅行、合宿、関連分野の研究者・実務家によるゲスト講義、学内外の関連分野の教員のゼミとの合同ゼミなどの企画も検討している。
成績評価の方法	ゼミでの報告・発言、ゼミ活動への貢献およびゼミ論により評価する。